



特集

平成30年度 海外派遣事業報告



ボーイング社エバレット工場にて、飛行機の製造工程を見学しました。

多くの旅客機が整然と並んで組み立てられていく様子に、団員たちは驚きを隠せませんでした。米国三菱重工から出向いていただいた成田様には、見学中に専門家の視点でわかりやすく解説をしていただきました。

日米の農業を比較するために、スパングラ農場の見学をしました。

見渡す限りの広大な農地を少人数で管理する為、巨大な農業機械や飛行機までも使用して農業を行っていることを教えていただき、日米の農業のやり方の違いを目の当たりにすることとなりました。



サクラメント愛知県人会の方々とは会食をしました。

アメリカの文化や生活等、団員の様々な質問に大変丁寧にお答えいただきました。

今年の11月には、県人会の方々の本村を訪問していただく予定であり、再会を楽しみに固い握手でお別れしました。

●研修の様子は、村公式ホームページでもご覧いただけます。

トップページ⇒村政情報⇒取り組み⇒国際交流⇒平成30年度飛島村海外派遣事業⇒研修日誌

<https://tobishimahaken2018.wixsite.com/home>

本村の中学生47名が、8月15日(水)から21日(火)の5泊7日で、姉妹都市であるアメリカ合衆国カリフォルニア州リオビスタ市等を訪れ、交流会やホームステイのほか様々な研修を通して貴重な体験をし、派遣団一人ひとりが親善大使としての役割をしっかりと果たしてきてくれました。



姉妹都市であるリオビスタ市では、ロナルド・コット新市長を始め、多くの方々に歓迎していただきました。



リバービュースクールでは、バディに学校案内をしてもらい、一緒に授業を受けたりランチを食べたりして交流を深めました。

午後の交流会では、合唱を披露したり、お互いのゲームも楽しみましたが、スクールの生徒の積極的な参加で、飛島音頭が盛り上がりのピークとなりました。



ホストファミリーの皆さんと記念撮影

2泊3日のホームステイは、団員たちにとって長くもあり、短くもあったようです。ホストファミリーとの英語での会話は、弾んだでしょうか。

来年も、リオビスタ市姉妹都市交流団の来村が予定されています。ホームステイの受け入れをしていただける方の登録等を随時受け付けていますので、お気軽に生涯教育課までお尋ねください。

●問合せ先 中央公民館内生涯教育課